

たまのまちづくり通信

発行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局

〒706-8533 玉野市築港 1-1-3(玉野商工会議所内)

TEL:0863-33-5010 FAX:0863-31-5558

E-mail:info@tamanocci.jp

<http://www.tamanocci.jp/ccam/>

～人と人を繋ぐ活気溢れる港町を目指して～

発行日：平成21年11月

玉野市中心市街地活性化協議会設立

玉野市中心市街地活性化協議会

会長挨拶（玉野商工会議所会頭 三宅照正）



玉野市は、造船業をはじめとする製造業を中心とするものづくりのまちであります。かつては本州と四国を結ぶ連絡線起点の町として栄えましたが、昭和63年の瀬戸大橋開通に伴う宇高連絡船の廃止の影響により交通体系も劇的に変化しかつての賑わいは影をひそめてきました。

玉野商工会議所では玉野市再生の対策として、商業活性化及び中心市街地賑わい創出のための各種事業やイベント等ソフト事業を主体として実施してきました。しかしながら、車がなければ生活しにくい拡散型の都市構造、少子高齢化、周辺都市への大型店舗の立地などともなう中心部の居住人口、来街者数、商店街などの減少は、本市でも例外ではなく、高齢者を含めた多くの人にとって快適で住みやすいまちづくりを推進することが重要となってきました。

こうした認識は日本全国各都市が抱える

問題であることから、国においては、様々な機能を都市の中心部に集積させ、都市の持続的発展を目的とした「コンパクトシティづくり」に取り組む方針を打ち出し、平成18年に「まちづくり3法」（中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法、都市計画法）が改正されました。

この法律改正により「選択」と「集中」の視点からやる気のある市町村に対して政府により集中的、効果的な支援がなされることになりました。玉野商工会議所では中心市街地活性化の最良の機会と捉え、改正中心市街地活性化法に基づく「玉野市中心市街地活性化協議会」を設立いたしました。豊かで賑わいのあるまちづくりのためこれからも鋭意努力してまいりますので関係各位のご協力を頂けるようお願い申し上げます。



中心市街地活性化協議会設立総会
(平成21年4月30日)

中心市街地活性化とは

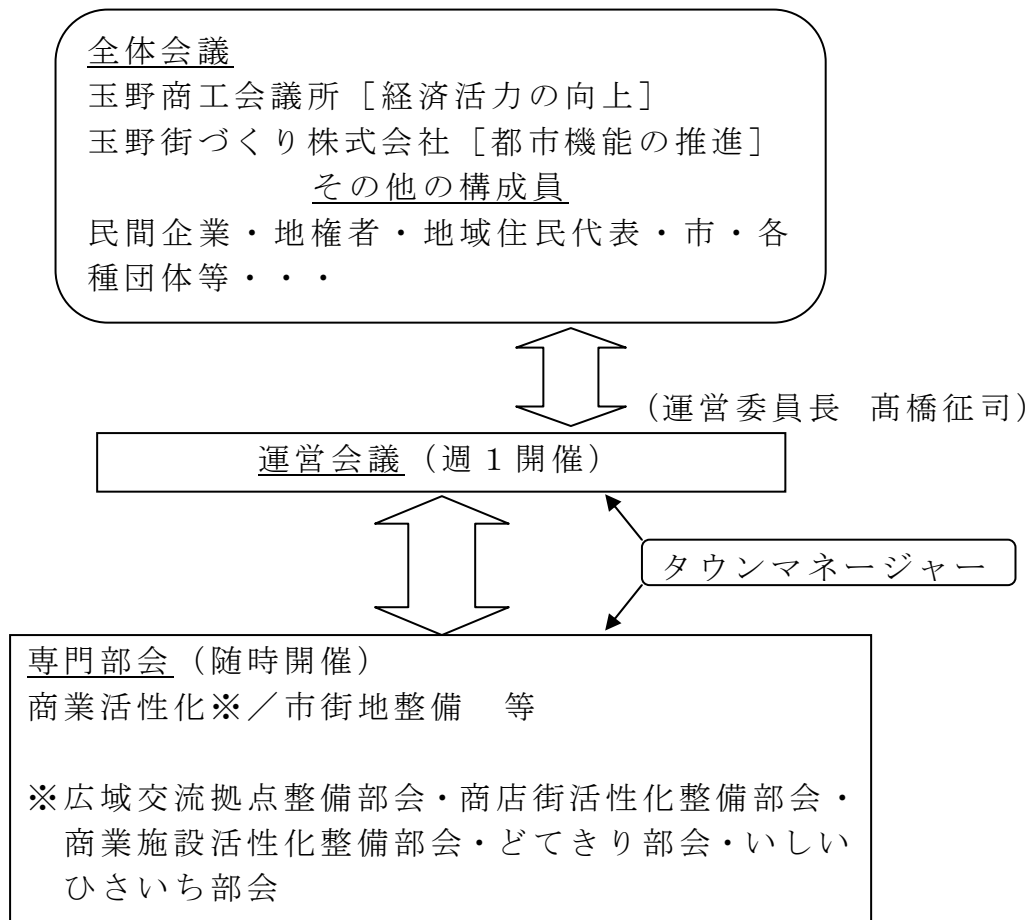
中心市街地活性化法は、空洞化の進んでいる中心市街地の活性化を図るため、地域の創意工夫を活かしつつ「市街地の整備改善」「商業等の活性化」を柱とする総合的・一体的な対策を関係省庁、地方公共団体、民間事業者等が連携して推進することにより、地域の振興と秩序ある整備を図ることを目的として平成10年に制定され、さらに平成18年5月効果的なまちづくりの実現のため大規模小売店舗立地法、都市計画法を含めたいわゆる「まちづくり3法」の1つとして改正されました。

中心市街地活性化協議会の役割と活動について、中心市街地活性化を

事業化するためには、行政が基本計画を策定し活性化協議会の意見を踏まえて、中心市街地活性化本部（本部長内閣総理大臣）に申請を行い認定を受けると国より集中的に支援を受けることが可能となります。現在全国で約140の地域で活性化協議会が設立され、認定された地域は83地域となっています。玉野市においても平成22年度認定を目指し、活性化協議会においては市民、民間事業者、各種関係機関の協力を得ながら活発な協議を行っております。

中心市街地活性化協議会の推進体制

玉野市中心市街地活性化協議会（会長 三宅照正）
（事務局：玉野商工会議所）



玉野市中心市街地活性化に向けて まちづくり5部会が活動中!!

広域交流拠点整備部会 (青井一令部会長)

広域交流の要として玉野市の新たな魅力を創出する新集客拠点を整備します。

宇野駅東側の宇野港土地株式会社所有の旧スペイン村用地を中心に交流拠点整備を計画しています。

風光明美な瀬戸内海に面した特性を活かして、昨年度「玉野まちづくり研究会」で検討された宿泊施設および温浴施設の建設計画案の実現に向けて協議を重ねています。

商店街活性化整備部会 (福原弘義部会長)

地域コミュニティの核としてのタウン・マネジメント活動(井戸端コミュニティの復活)を行います。

築港商店街のかつてアーケードのあった一角です。老朽化したアーケードは安全・安心な商店街を形成するため、昨年撤去工事を完了しオープンモール化をはかりました。

以前、このブロックは一体事業としての再開発計画が挙げられたこともありましたが、今回は現在の経済情勢も考慮して大掛かりなものではなく、イメージの統一されたエリア別整備による小さな魅力ある街づくりを計画しています。

商業施設活性化整備部会 (北野良介部会長)

地域の買物拠点であり、地域商業・生活の要である。

生活者ニーズが変化する中で、的確に特性をつかみ地域密着性の充実を図ります。

天満屋ハピータウンと共同店舗を形成するショッピングモールメルカでは、来年夏頃のリニューアルオープンを目指して現在協議・検討を行っております。2階部分に大型専門店の誘致を計画するなど、玉野市商業活性化の先陣を切る予定です。

どてきり部会 (吉本誠部会長)

玉野の幻のカニ「どてきり」を復活！新しい特産品作りに奮闘中です。

「どてきり」とは、ノコギリガザミの玉野での呼称です。約半世紀前までは、児島湾や胸上でたくさん獲れていました。現在、まちおこしの目玉にすべく養殖実験・商品化を目指し鋭意努力中です。

いしいひさいち部会 (伊達元英部会長)

玉野市出身の漫画家いしいひさいち先生の全面のご協力を頂き、まちおこしをしようと取り組んでいます。いしい先生の作品の展示会を始め案内看板やマンホールの蓋にキャラクターを用いるなどユニークな街づくりを目指します。

「海の日築港夜市」にて来街者へ アンケート調査実施

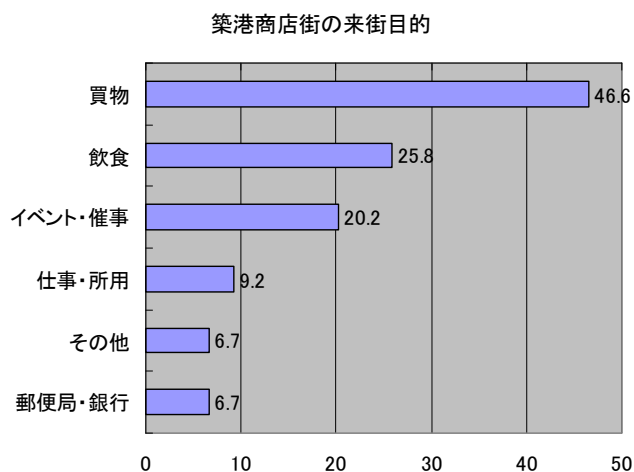
Vol. 1

去る、平成21年7月19日(日)築港商店街で開催された「海の日築港夜市」にて来街者アンケート調査を実施しました。調査は、専門業者である株式会社成研に委託する形で実施しました。

調査結果の詳細

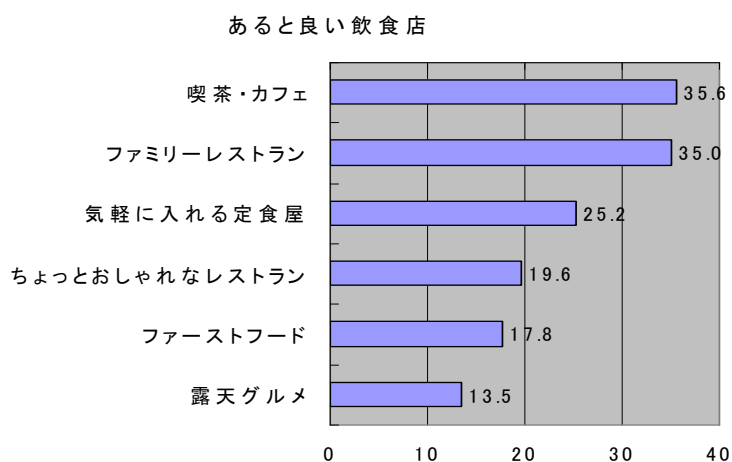
築港商店街への来街目的（2つまでの複数回答可）

「買物」が最も多く46.4%で、次に「飲食」25.8%、「イベント・催事」20.2%と続いている。



あると良い飲食店（2つまでの複数回答可）

「喫茶・カフェ」が最も多く35.6%で、次に「ファミリーレストラン」35.0%、「気軽に入れる定食屋」25.2%、「ちょっとおしゃれなレストラン」19.6%と続いている。



築港商店街やまちづくりに関する意見・要望

- ・アーケードをなくしたことを活かし、開放的な商店街にして欲しい。
- ・シャッター通りでなく全店舗が揃って営業できるように。お客さんが流れてくるようにする。
- ・小さな子供などを連れたファミリーに来てもらうなら、駐車場がないとだめ。
- ・入口が暗い。もっと商店街に目を向けられるような工夫をした方が良い。
- ・広くてきれいな商店街に刷新して欲しい。
- ・人が少ないので活気がない。若い人、外国の人、市外の人などに目を向ける。若い人が長い目で見て考えることが望ましい。
- ・若者が集まるような仕掛けが必要。
- ・古い街並みを活かす工夫が必要。昔、地元に住んでいたので頑張って欲しい。
- ・地域の人やまちづくりにもっと係ることが必要。